

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
1 全 体	中山間地域の振興で、「多様な主体の知恵と力の結集により創発する「人・自然・経済が循環する活力溢れる中山間地域」の実現」とあるが、これは中山間地域のことだけでなく、市全体の方針としての表現を検討いただきたい。
2 全 体	計画(素案)に使われている語句や表現などが難しく、また文章が長すぎる部分があり、できるだけ平易で、分かりやすい表現に努めていただきたい。
3 第1章 計画策定にあたって 2.まちづくりの方向と計画の名称	総合計画期間の10年間のうち、後期5年間の計画であるのに、「ひと・輝きプラン周南」の名称まで変える必要があるのか。名称を別のものにすると、後期計画まで別の計画のように感じる。計画の一貫性があるのもよいのではないか。
4 第1章 計画策定にあたって 2.まちづくりの方向と計画の名称	基本計画の名称は、基本構想時に規定した表現を使うのが原則であると思うが、後期計画に対しての強いメッセージを織り込みたいのであれば変更してもよいのではないか。
5 第1章 計画策定にあたって 2.まちづくりの方向と計画の名称	計画の名称については、「まちとしての質を高めながら」という記載があり、この質が何かということについて、「ひと・輝きプラン」というイメージで合意ができてくれば変えなくていいし、違う質を求めようということであれば変更する必要があると考える。
6 第1章 計画策定にあたって 3.計画期間の基本方針	3つの基本方針の表現がバラバラな感じがする。例えば自助・共助とか、選択と集中というようなことはひとつの手段である。基本方針としては、まちづくりに対する強いメッセージ、具体的なメッセージを入れるべきである。
7 第1章 計画策定にあたって 3.計画期間の基本方針	自助と共助の考え方が、若干曖昧な感じがする。普通、自助というのは個人、拡大して家族までだが、この計画では、自助を幅広く多様な市民ということで捉えられている部分があるので検討いただきたい。
8 第1章 計画策定にあたって 3.計画期間の基本方針	自助・共助・公助ということで、計画書全体の「何々します」、「何々進めます」といった文章の主語が、市民なのかコミュニティなのか、あるいは行政なのかということで内容、意味合いが変わってくるので、その点を意識して再度検討いただきたい。
9 第1章 計画策定にあたって 5.市民のまちづくりへの意識、評価	今後まちづくりにおいて重要度が高いものでは、「徳山駅を中心とした中心市街地の活性化」がトップとなっているが、この結果については地域別の図が示されていない。今後の施策としてどれを市民が重要と考えているかということを示すのであれば結果を掲載する必要がある。
10 第2章 重点推進項目 1.重点プロジェクト	重点プロジェクトを「基幹プロジェクト」と「戦略プロジェクト」にあえて分けている理由・目的がはっきりしないので、再度検討いただきたい。
11 第2章 重点推進項目 1.重点プロジェクト	「立市」のイメージ(姿)が、文中から読み取ることができない。具体的に「立市」とは「このようなまち」、「まちづくり」という表現を検討いただきたい。
12 第2章 重点推進項目 1.重点プロジェクト	地球温暖化もあって動植物の生態系が大きく変わりつつあるなか、温暖化防止の取り組みが大事である。
13 第2章 重点推進項目 1.重点プロジェクト	「ツル保護対策の推進」の見直しも必要ではないか。それよりも、イノシシやサルなどの作物を荒らしている鳥獣対策や、また、熊への対策も必要である。
14 第2章 重点推進項目 1.重点プロジェクト	「観光・交流立市」に記載されている「イベントの実施・誘致」について、周南市らしい特長とインパクトのあるイベントに絞って、人と金を集中すべきである。
15 第2章 重点推進項目 2.中山間地域の振興	中山間地域は市の7割を占めているが、課題も非常に多いので、中山間地域の振興に重点的に取り組んでいただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
16 第2章 重点推進項目 2. 中山間地域の振興	中山間地域の振興にあたっては、地域事情に詳しい人材を確保し、そこに居住している人々の生活状況などを把握して、地域活性化などに取り組んでいただきたい。
17 第2章 重点推進項目 2. 中山間地域の振興	中山間地域の現状と課題として、集落を維持しがたくなったとか、集落が消えかけているといった現状がある。小規模・高齢化集落がどのくらいあるのか、今後どうなるのかという統計データ等を記述しておく必要がある。
18 第2章 重点推進項目 2. 中山間地域の振興	勝間地区、大河内地区は中山間地域から除外されているが、この地区の中には、他の中山間地域と同様な条件に該当する地域が含まれている。他の中山間地域と同等な対策が必要である。
19 第2章 重点推進項目 2. 中山間地域の振興	「(1)中山間地域づくりの方針」の中で、「中山間地域の存在価値を全市民の共通理解の下」とあるが、共通認識できるような施策に取り組んでいただきたい。
20 第2章 重点推進項目 2. 中山間地域の振興	「多様なツーリズムの促進」の中で、「廃校等を活用した交流拠点づくりを支援します」とあるが、古くなった廃校をそのまま地元へ譲渡されても維持管理等難しいこともあるので、具体的な支援策を示してもらいたい。
21 第2章 重点推進項目 2. 中山間地域の振興	産業観光ツアーがあるが、現在ある工場見学だけでなく、人間生活の原点である第一次産業と連携したものも企画して、都市部と中山間部の交流の支援をお願いしたい。
22 第2章 重点推進項目 2. 中山間地域の振興	中山間地域においては、高校生等の通学費用の負担に関する問題があり、次世代を担う若者をどのように支援していくのかということを施策に盛り込んでいただきたい。
23 第3章 分野別計画 1. 全体	「推進施策の展開」では代表的な目標指標、数値が出されており大変良いことだと思うが、以下の内容について再度検討いただきたい。 ・代表的な目標指数は、素案の内容で本当に妥当か。 ・目標値の数値は素案の数値で本当に良いか。 ・目標値は平成26年度の数値であるが、継続的数値の場合は最終数値があれば何らかの表示をする。
24 第3章 分野別計画 1. 全体	前期計画と比較すると全体的に資料が簡素化されているが、必要な統計データ等があったほうが市民にも分かりやすいので掲載をお願いしたい。
25 第3章 分野別計画 1. 全体	各章や節のトップページ等に、この章や節ではこういったことを述べるという説明書きを入れていただきたい。その説明のなかに重点プロジェクトや3ページの基本方針などが盛り込まれれば、理解しやすいと思われる。
26 全体 2. 体系図	施策体系図の中で、生活環境の基本施策 3自然環境の保全の推進施策に都市基盤の基本施策4河川・水辺空間の整備のところから(1)河川・水辺の整備、(2)生態系(動植物)の保護・育成、(3)森・川・海の連携活動の推進と変更できないか検討いただきたい。 また、産業の基本施策 4商業の振興の推進施策を(1)商店街活性化の促進、(2)創業・開業・支援体制の確立(3)後継者育成の推進、(4)農商工連携の取組研究と変更できないか検討いただきたい。
27 教育・文化 1. 全体	節で、(まちの姿)として、「市民がどのようになる」という書き方がしてあるが、「教育・文化」の分野では少し表現の仕方が異なっている。例えば、「教育環境が整う」は「充実した環境のもとで学べる」といったように表現方法を統一していただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
28 教育・文化 1-1.教育内容の充実	柔道や相撲など武道の必修化などに関連した平成24年度からの新学習指導要領についての記載がない。どのように取り組んでいくのか記載が必要である。
29 教育・文化 1-1.教育内容の充実	「教育内容の充実」の主要事業に、スクール・ソーシャル・ワーカーの事業(SSW)として、『社会福祉の視点に立ち、学校現場で児童・生徒の取り巻く環境を調整して、子どもが抱えている問題を包括的に解決する支援専門員を置き、学校や関係機関と連携して活動する事業。』を追加していただきたい。
30 教育・文化 1-1.教育内容の充実	「(3)不登校対策の充実」の中で、「少しでも多くの児童生徒が登校できるように努めます。」という記述について、登校できるようになることだけでは充分でないと考え方もおられるので、一考をお願いしたい。 また、不登校の未然の防止など取り組みの充実が必要であり、不登校の目標指標としては不登校児をなくすという目標でなければならない。
31 教育・文化 1-1.教育内容の充実	小規模校の統合など学校適正配置に関しては、それぞれの地域の実情や住民の意向を考慮して取り組むのであれば、推進施策に「地域の実情に配慮」する内容の記述があったほうがよい。
32 教育・文化 1-1.教育内容の充実	AET(英語指導助手)による英語教育の充実も必要だが、正しい日本語教育も必要である。
33 教育・文化 1-1.教育内容の充実	少子化により周辺地域の幼稚園が疲弊し魅力が薄れてきており、また、公立幼稚園は多いが保育園が少ないことなど、働く親が多い現状とあっていない。幼保一元化の推進も含めて、幼児教育についても適正な配置計画が必要である。
34 教育・文化 1-2.教育環境の整備・充実	耐震化が必要な小中学校は、早急に計画を立て、子どもたちの安全を最優先に改修・補強工事を速やかに進めていただきたい。
35 教育・文化 1-2.教育環境の整備・充実	栄養バランスのとれた安心・安全な給食の提供が求められるとあるが、今更取り上げることもなく、従前より確実に実施する施策である。 食育の原点は、出されたものを感謝して食べることだと思うが、安心・安全な食材だとかいうことばかり取り上げられていて、そういった記述がされていない。
36 教育・文化 2-1.青少年の健全育成	青少年健全育成の協働ネットワークづくりに関して、青少年育成市民会議では情報の共有・発信が進まない状態にあり、計画の中に情報の共有や発信等を促進する取り組みについて記載していただきたい。
37 教育・文化 2-1.青少年の健全育成	目標指標で「周南市青少年育成市民会議構成団体数」があげられているが、市民会議は連合会や支部の団体数をそれぞれ集計したもので指標とするには不相当であると考えるので検討いただきたい。
38 教育・文化 2-1.青少年の健全育成	「青少年の健全育成」の対象とする青少年の範囲(年齢)が担当課所管で異なっているので範囲が広すぎて捉えにくくなっていると思う。本文中に「若者」「青少年」「青年」などの言葉が使われているが、いずれかに統一していただきたい。また、「若者」対象の施策等をもう少し盛り込んでいただきたい。
39 教育・文化 2-2.生涯学習の推進	基本方向で「活す」を使用しているが、特に意図がなければ、他の部分にあわせて「生かす」に統一すべきではないか。
40 教育・文化 2-2.生涯学習の推進	「(仮称)学び・交流プラザ」は、新市建設計画の21リーディングプロジェクトに位置付けされており、新南陽地域としては唯一のものであるが、抽象的な記述であり具体性がない。整備場所として『新南陽地域に』と追加するなど、よりはっきりとした記述を期待する。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
41 教育・文化 2-2.生涯学習の推進	目標数値「児童向け行事延べ参加者数」があげられているが、図書館の児童コーナーを利用する子どもの人数をあげたほうがよいのではないかと。
42 教育・文化 2-3.文化・芸術活動の振興	文化会館利用者数を目標指標にすると、利用者数を増やすということも、コンサート等主催者側が努力する数字ということになり、目標指標にならないのではないかと。
43 教育・文化 2-3.文化・芸術活動の振興	ホームページの活用に関する記述があるが、現状のホームページはリニューアルすべきであり、具体的な計画を検討していただきたい。
44 教育・文化 2-3.文化・芸術活動の振興	文化会館や美術博物館については、ハード面は出ているが、ソフト面について興行の誘致等の記述があればいいと思う。ソフト事業の部分に市民側の視点を入れていただきたい。周南市の市民の文化度は低いといわれているので、行政側がバックアップするような体制が必要である。
45 教育・文化 2-3.文化・芸術活動の振興	伝統芸能や民族芸能については、郷土の伝統文化・芸能を10年後、20年後に継承できるのかという問題がある。実績・評価、今後の推進施策には記載されているが、現状と課題にも問題提示として記載していただきたい。
46 教育・文化 2-3.文化・芸術活動の振興	最近では、美術博物館の利用者数が増えていると感じるが、市民文化を育てるといことは、必ずしも高いレベルのものが必要ではなく、市民が関心があると楽しめる機会の提供も必要である。
47 教育・文化 2-3.文化・芸術活動の振興	主要事業の「文化会館整備事業」では、文化会館に限定されるので、「文化施設整備事業」に修正していただきたい。
48 教育・文化 2-4.スポーツの振興	「スポーツを極める人づくり」も大切なことだが、市民のだれもが気軽に、身近なスポーツに親しむ環境づくりも重要である。
49 教育・文化 2-4.スポーツの振興	武道の必修化に関連して、スポーツ指導者の育成等の取り組みが必要である。
50 教育・文化 2-4.スポーツの振興	主要事業の体育施設整備事業について、国体会場に選定されている施設の整備・改修事業となっているが、国体会場に選定されていないスポーツ施設の整備を行うのであれば修正していただきたい。
51 教育・文化 2-5.国際交流・都市間交流の促進	主要事業に、学校間の国際交流推進事業として、『姉妹都市提携している都市の学校と本市の学校が、インターネットを活用するなどし、学校間で交流をする事業。』を追加していただきたい。
52 教育・文化 2-5.国際交流・都市間交流の促進	現状と課題で、パスポートの申請件数増えたことが海外や外国人が身近になりつつあるという表現は適切でないと思う。外国人が身近になりつつあるというの理解できるが、海外に行くことによって身近になったとはいえないと思う。
53 教育・文化 2-5.国際交流・都市間交流の促進	基本方向の結びが、「外国人が暮らしやすいまちづくりを進めます。」になっているが、市民サイドに向けた文章の方がよいのではないかと。外国人と市民が共生していくという内容の表現に変更していただきたい。
54 教育・文化 2-5.国際交流・都市間交流の促進	大学や高専の留学生、企業で働く外国の方も非常に多いので、産学と協働でといったことが文言として入れられればより身近な交流ができるのではないかと。
55 教育・文化 2-5.国際交流・都市間交流の促進	留学や仕事で周南市に来られる方で、日本語がまったく話せないという方は少ないと思われる。日本語講座参加者数を目標指標としては適切でないと思うので、再度検討いただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
56 教育・文化 2-5.国際交流・都市間 交流の促進	前期基本計画の実績・評価に、「東アジア地区で新たな姉妹友好都市の模索をしました。」とあり、具体的に進んでいるのであれば、記載した方がよいと思う。
57 市民生活 1-1.市民活動の促進	生涯学習と地域コミュニティは、両方大事なものだが、うまくバランスをとらないと地域コミュニティが希薄になるように思う。今まであった地域コミュニティを、より進化させた形で定着するような施策を考えて取り組んでいただきたい。
58 市民生活 1-1.市民活動の促進	現状と課題と前期基本計画の実績・評価、推進施策の展開などの順番に、主要事業の順番をそろえた方がよいのではないか。
59 市民生活 1-1.市民活動の促進	地縁型コミュニティとテーマ型市民活動の2つが両輪としてあるということであるが、この基本方向のままでは読み取りにくいので、その辺がわかるような表現に変更できないか。
60 市民生活 1-1.市民活動の促進	地縁型コミュニティは、近年のライフスタイルから維持されにくくなっているのではないか。今後、次の世代の新しいリーダー育成の取り組みが必要である。
61 市民生活 1-1.市民活動の促進	市民活動グループバンク登録グループ数について、目標指標を設定する必要はないのではないか。また、市民活動における目標数値は、すべて市民が参加したり相談したりしないと数が増えないものとなっているので再考が必要である。
62 市民生活 1-2.市民参画の推進	現状と課題に、パブリック・コメント、ワークショップとあるが、用語の説明を入れていただいた方が分かりやすくよい。
63 市民生活 1-2.市民参画の推進	前期基本計画の実績・評価に、パブリック・コメントの実績を盛り込めないか検討いただきたい。実績の記載があると推進施策の展開の「(2)市民参画評価システムの確立」への繋がりが分かりやすい。
64 市民生活 2-1.人権の尊重	個人情報保護条例のデメリットとして、民生委員の活動において、個人情報に壁になっているという意見がある。デメリットを少しでも改善する手段を検討いただきたい。
65 市民生活 2-1.人権の尊重	主要事業に人権教育研修事業というのがあるが、研修等に参加する人が偏っているのではないか。また、目標指標も低いと思う。
66 市民生活 2-2.男女共同参画社会 の推進	市の審議会等の女性委員の占める割合は4月1日現在25%で目標の40%を下回っている。市サイドとしても、まず積極的に女性の管理職を現在よりも大幅に増加させる等、前向きな取り組みが必要である。
67 市民生活 2-2.男女共同参画社会 の推進	前期基本計画の実績・評価にある男女共同参画推進事業者の記述は、「活動を支援します」ではなく「活動を支援しました」の誤りでないか。
68 市民生活 2-2.男女共同参画社会 の推進	男女共同参画の現状と課題の、「性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる」とあるが、「世代にかかわらず」ということを入れていただきたい。
69 市民生活 2-2.男女共同参画社会 の推進	現状と課題に「家庭・職場・地域において男女の役割に対する固定的な考え方が残っていることから、引き続き男女平等理念の普及を図る必要があります。」とあるが、この文章を入れる必要があるのか疑問に思うので再考いただきたい。
70 福祉・保健・医療 1-1.地域福祉の推進	高齢者世帯や一人暮らしの世帯が多くなっており、行政の手助けだけでは充分でなく、自助、共助が必要となっている。今後の対応にあたっては、統計数値や現状等の実態把握を充分にして取り組む必要がある。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
71 福祉・保健・医療 1-1.地域福祉の推進	プライバシーの保護が叫ばれるなかで、地域での福祉活動が難しくなっているが、難しいなりに、皆で支えあう体制にしようという認識で取り組んでいただきたい。
72 福祉・保健・医療 1-1.地域福祉の推進	基本方向で「まちづくりを進めます」とあるが、この主語はだれなのか。市の基本計画なので、市がこういう方向で進めて、それに応じて各関係団体との連携を図るという意味で捉えられるので再度検討していただきたい。
73 福祉・保健・医療 1-2.高齢者福祉の充実	社会問題にもなっている「老老介護」について、本市では、どのくらいの数になっているのか気になるが、介護予防については、今後も最重要課題として取り組んでいただきたい。
74 福祉・保健・医療 1-2.高齢者福祉の充実	目標指標として地域包括支援センターでの相談件数が挙げられているが、目標指標の相談件数は多い方が良いのかどうか、目標指標の設定について再考が必要である。
75 福祉・保健・医療 1-2.高齢者福祉の充実	「高齢者福祉の充実」だけに限ったことではないが、現状と課題では、国の動向だけでなく、県の取り組みや方針等を記載して、今後の市の取り組み方針や実態等を記載したほうが理解しやすいと思う。
76 福祉・保健・医療 1-2.高齢者福祉の充実	鹿野地域では、最も重要な役割を担っているのが70歳代である。高齢化率が25%でと市全体のように語られるが、それぞれの地域の実情を十分に踏まえた事業の推進が必要である。
77 福祉・保健・医療 1-2.高齢者福祉の充実	「推進施策の展開」の「(1)総合的な介護予防の推進」と記載されているが、それ以降の文章内容からは「総合的」とは思えない。「総合的」を削除しても問題ないと思われるので、検討いただきたい。
78 福祉・保健・医療 1-2.高齢者福祉の充実	「(2)高齢者を地域で支える体制づくり」の目標指標として、要介護状態者の家庭や地域で暮らせる人がどれだけ増えたかを目標にすることは難しいか。また、「認知症サポーター」の取り組みを目標指標にすることはできないか検討いただきたい。
79 福祉・保健・医療 1-3.障害者福祉の充実	障害者の一般就労は大変難しいというのが現状であることから、自立支援については切にお願いしたい。
80 福祉・保健・医療 1-3.障害者福祉の充実	「障害者福祉の充実」に、代表的な目標指標が設定されていないが設定すべきである。
81 福祉・保健・医療 1-4.社会保障制度の運営	「社会保障制度の運営」は、「社会保障制度の 運営」または「社会保障制度の 」とする方がよいのではないか。
82 福祉・保健・医療 1-4.社会保障制度の運営	「(3)低所得者への自立支援」において、難しいとは思いますが、就労支援を含めた目標指標を設定することはできないか。
83 福祉・保健・医療 2-1.子育て支援の充実	前期基本計画の実績の中で、休日・夜間子ども救急センターが、徳山中央病院内に開設されたことについて大変評価している。他の地域に自慢できる子育て支援に取り組んでいただきたい。
84 福祉・保健・医療 2-1.子育て支援の充実	一時保育児の対応人数が少ないので、各保育園でもう少し多くの幼児を預かれるよう、各園の一時保育児の受け入れ数を増加させる内容を追加していただきたい。
85 福祉・保健・医療 2-1.子育て支援の充実	子育て支援のための「子育てサロン」には助成がまったくなく、地区社会福祉協議会の助成に頼っている現状であり、主要事業に子育てサロン支援事業を追加して支援していただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
86 福祉・保健・医療 2-1.子育て支援の充実	新南陽保健センターでは子育て以外の福祉活動も担っているが、実質一人の職員しかいない。「子育て相談の充実」の項目に関連して、それぞれの地域と行政の連携が、上手くできていないという現状も把握しておいていただきたい。
87 福祉・保健・医療 2-1.子育て支援の充実	子育てを行う上での周南市の強みは何か。子育てをする上での周南市の強みや魅力を出せるのであればしっかり表現していただきたい。
88 福祉・保健・医療 2-1.子育て支援の充実	市全体としては良いかもしれないが、市西部では保育園が不足しているので、保育園の再編成をしてでも地域間の格差を解消していただきたい。
89 福祉・保健・医療 2-1.子育て支援の充実	現状と課題、主要事業の次世代育成支援行動計画事業のなかでは、「安心して子どもを育てる」とあるが、「子どもを生む」ことに関する取り組みも検討していただきたい。
90 福祉・保健・医療 3-1.健康づくりの推進	前期基本計画の実績・評価等で挙げられている母子保健ブックスタート事業は子育て支援で扱うべきではないか。重複になっても構わないので「子育て支援の充実」のところで挙げて、「健康づくりの推進」にも再掲という形で挙げる工夫をしていただきたい。
91 福祉・保健・医療 3-1.健康づくりの推進	予防ばかりになると、非常に窮屈な感じは受けるが、予防を施策として重点的に推進していくことが健康づくりにつながるものと思われる。
92 福祉・保健・医療 3-1.健康づくりの推進	食育は身体や精神全てに関わってくることであり、命を大事にするというところを根幹にした施策が欲しいが、こういった食育は行政がすることではないと思う。本来一人ひとりが行うべきもので、行政の役割はあくまでもその支援という形の表現にしてもらいたい。
93 福祉・保健・医療 3-1.健康づくりの推進	健康づくりの主役はあくまでも市民一人ひとりであることを基本認識として持ち、その上で必要な事業を行政として行っていくという理解をしておくべきである。
94 福祉・保健・医療 3-1.健康づくりの推進	特定検診の内容が毎年変わっているようだが、健康づくりは継続が重要であると思う。国や県の状況に応じた対応であると思うが、運用については検討いただきたい。
95 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	「地域医療の充実」では、目標指標の現状値と目標値が同じものがあるが、一般的には目標指数としないと思うので、再度検討いただきたい。
96 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	現状と課題の中で、「安定した医師・医療従事者の確保が求められる」とあるが、それに対する施策が記載されていないので、追加していただきたい。
97 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	「(3)医療機関の連携」で、「他の医療機関と連携した～」と記載されているが、どのような体制づくりを構築しようとしているか不明であるので、具体的な表現を追加していただきたい。
98 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	鹿野地域は診療において眼科、耳鼻科などの専門科がなく、多くの方が遠い徳山方面で診察を受けている状況である。診療所も新しくなったこともあり、その対策に取り組んでいただきたい。
99 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	「推進施策の展開」の「(2)救急医療体制の充実」について、病院群輪番制病院を支援するとあるが、だれがどのように支援するのか分かるような表現を検討していただきたい。
100 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	保健や福祉も見据え地域医療の拠点として市民病院がどうあるべきかの視点が重要になってくるのではないかと。地域医療全般に対しての市民病院のビジョンを示していただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
101 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	地域医療の中核として市民病院の理念が確立しているのであれば、サービスの充実による赤字であれば、多少の赤字は容認する姿勢を市民が持たなければならぬと思う。
102 福祉・保健・医療 3-2.地域医療の充実	「第3章 福祉・保健・医療」全体を通しての総合的な方向性は何なのかと、保健・福祉を含めた全体の体制をどう構築しようとしているのか、その中で市民病院がどう位置付けられるのか提示していただきたい。
103 危機管理 1.全体	第4章に含まれる項目と「危機管理」という言葉の意味のイメージがあわない。もう少し柔らかい表現の方が良いのではないかと。この項目からは、地域をどう守るのか、つまり安心・安全に暮らせるという視点で構成されていると思う。
104 危機管理 1.全体	想定される様々な危機に対して、行政がどう対応するかを具体的に示していただきたい。また、市民にそれを周知していくこと、防災意識を啓発していくことも必要であると考え。
105 危機管理 1-1.防犯の推進	現状と課題では、「様々な情報発信と相互の情報共有」ということが出されているが、推進施策等で触れられていないので記載が必要ではないか。
106 危機管理 1-2.交通安全の推進	「(2)安全な交通環境づくり」の目標指標に、違法駐車違反件数を設定することを提案したい。
107 危機管理 1-2.交通安全の推進	目標指標として交通事故発生件数が挙げられているが、なぜ目標数値がゼロでないのか。交通事故発生件数の目標数値が努力目標としてあまりに低いと考える。
108 危機管理 1-2.交通安全の推進	危険な場所よりも安全な場所で事故に遭う高齢者が多い。高齢者に対して、安全な場所での交通事故への注意喚起をどう行っていくのかを盛り込んでいただきたい。
109 危機管理 1-2.交通安全の推進	前期基本計画の実績・評価で実施したことの実績、結果が示されていない。取り組みの成果を入れていただければ、より現状と課題や推進施策の展開が分かりやすくなると思う。
110 危機管理 1-2.交通安全の推進	安全な交通環境づくりは、市内で画一的に行うのではなく地域の現状を踏まえ、市民と行政が一緒になって進めていく仕組みが必要である。
111 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	臨海地域の防災に重点がおかれているが、地震災害に対する広域防災拠点の設置の必要性や交通遮断等に対する迂回路の点検などが必要である。
112 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	「公共施設の耐震化を進める」、「一般住宅等の耐震化を支援します」と記載されていることから、目標指標を「耐震診断実施率」の次に「耐震化実施率」を設定することを提案する。
113 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	主要事業としてあげられている避難場所案内板の設置に留まらず、避難経路について、緊急に検討していただきたい。現状の避難場所の多くは、避難経路のことは考慮されることなく決定されており、危険地域から避難場所まで到達できないことが想定される。
114 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	地域のコミュニティの衰退が問題になっているが、地域防災活動を充実、強化していくことがコミュニティの再生にも繋がるのではないかと。
115 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	どのような手段で情報を共有し、迅速に対応できる体制がとれるのか。どう役割分担をするのかという基本認識の共有に取り組んでいく必要がある。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
116 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	サイレンや無線など屋外の情報伝達手段は、現在の防音がしっかりした住宅の構造では役に立たないと思う。時代に合った手段を構築していく必要がある。連絡網の整備を義務付けるなど自治会組織のネットワークを使うことで情報の共有について検討していただきたい。
117 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	しゅうなんメールや防災無線など手段は行政が作っている。情報の受け取り手である市民自身の危機管理が日頃、できていないことも問題であり、市民への啓発が重要である。
118 危機管理 1-3.災害に強いまちづくりの推進	情報伝達手段を作ること、情報を発信することは全く別の問題であり、情報弱者へいかに情報を伝えるかを考えなければ、弱者保護はできないと考える。
119 危機管理 1-4.消防・救急体制の充実	消防団員数が目標指標として挙げられているが、若い人たちが本当に参加していけるのか疑問である。消防団活動に対する企業等の理解を得る努力を行いつつ、団員確保に取り組む必要がある。
120 危機管理 1-4.消防・救急体制の充実	「(3)救急救助体制の充実」で、通常業務・事業遂行の中で充実・強化する項目は記載する必要はないと思う。
121 危機管理 1-4.消防・救急体制の充実	基本方向にある「信頼される消防」とはどのような消防がよくわからないので、具体的に記載していただきたい。
122 危機管理 1-5.市民相談の充実	相談体制の強化として、市内の空き店舗に相談コーナーを設けるなど、気軽に相談できる場所を提供することについて、検討していただきたい。
123 危機管理 1-5.市民相談の充実	行政の相談業務に関するワンストップサービスと身近な場所への相談窓口の設置を検討していただきたい。
124 危機管理 1-5.市民相談の充実	市民相談という項目は危機管理ではなく「市民生活」で扱うべき分野であると思う。第4章を「生活安全」と捉えれば、このままでも良いのかもしれない。
125 生活環境 1.全体	『上水道』および『下水道』の上下水道に係る事項は、「まちづくり」という面からも、一般的には「都市基盤」の分野に入るものとする。
126 生活環境 1.全体	上下水道については都市基盤で扱い、第5章としては地球温暖化防止に貢献するというテーマにするという整理の仕方の方が分かりやすいと考える。
127 生活環境 1.全体	低炭素社会と循環型社会という2つに分けて扱う必要があるのか。低炭素社会の実現という大きなテーマのなかに、循環型社会が含まれていると考える。
128 生活環境 1.全体	地球温暖化を防止するためという大きな枠のなかに、低炭素社会の実現や循環型社会の実現が入っていると思うが、今の計画では低炭素社会の実現というテーマのなかに地球温暖化防止が一つの項目として入っているので再度検討していただきたい。
129 生活環境 1-1.低炭素社会の実現	基本方向で「まちづくりを進めます」という表現があるが、具体的な表現に変更していただきたい。
130 生活環境 1-1.低炭素社会の実現	「(2)「環境立市」への取り組みの推進」は、他の項目にも「環境立市」への取り組みがあり、項目文としてはあまりふさわしくないので検討していただきたい。
131 生活環境 1-1.低炭素社会の実現	推進施策の展開の一つの項目に「環境立市」という言葉があるが、項目ではなく基本方向に盛り込むべきものであると思うので検討していただきたい。
132 生活環境 1-1.低炭素社会の実現	代表的な目標指標として「ハイブリッド自動車導入数」が取り上げられているが、ハイブリッド自動車を導入することによる二酸化炭素の排出量の削減を目標指数にすることはできないか検討していただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
133 生活環境 1-1.低炭素社会の実現	循環型社会の実現では環境教育についての記載があるが、ここではその項目がないので、啓発活動と併せてあっても良いのではないかと。特に子どもたちへの教育が大切だと思うので、教育活動にもしっかり取り組んでほしい。
134 生活環境 1-2.循環型社会の実現	「(3)適正処理の推進」は、項目を見ただけで、何をしようとするのか分かる表現にした方が良いと思う。
135 生活環境 1-2.循環型社会の実現	ゴミの分別方法が各地区で統一されていない。ゴミ処理場も含め、市全体の統一化に向けて事業を進めていくべきである。
136 生活環境 1-2.循環型社会の実現	環境教育の推進について、市民一人ひとりが環境問題を自分のこととして意識し実践する啓発を行う旨を追加していただきたい。
137 生活環境 1-2.循環型社会の実現	基本方向では、ごみが発生した後の処理や再資源化をどうするかということは記載してあるが、資源の再利用やごみ減量化の取り組みについては触れられていないので、表現を追加していただきたい。
138 生活環境 1-2.循環型社会の実現	循環型社会を実現するためにも地産地消型の地域経済システムを確立し、地域内での物質循環の仕組みを作るという方向性があるとしても良いのではないかと。
139 生活環境 1-3.自然環境の保全	基本方向で「まちづくりを進めます」という表現があるが、より具体的な表現に変更していただきたい。
140 生活環境 1-3.自然環境の保全	河川や湖などの水質に一部環境基準に達していないとあるが、「4.推進施策の展開」では調査・監視と記載があり、矛盾していると思われるので検討していただきたい。
141 生活環境 1-3.自然環境の保全	「戦略プロジェクト3」において、「ツル保護対策の推進」が記載されているが、「4.推進施策の展開」の中では、戦略的に強い具体施策の表現になっていないように思えるので検討していただきたい。
142 生活環境 1-3.自然環境の保全	自然環境の保全について、森林や田畑の記載はあるが竹林ということが入っていないので検討していただきたい。
143 生活環境 1-3.自然環境の保全	海についての記載がないので、その点について修正や加筆を検討していただきたい。
144 生活環境 1-4.上水道の経営	「(2)ライフラインの機能強化と整備促進」で、主要浄水場の改良を進めると記載されており、目標指標は「浄水施設の耐震診断箇所数」となっており、施策と目標が一致していないので、検討していただきたい。
145 生活環境 1-4.上水道の経営	上下水道の組織統合について、「1-5.下水道の経営」との表現を統一していただきたい。
146 生活環境 1-4.上水道の経営	都市地域と中山間地域とを比較した市民の評価を見ると、中山間地域ではやや不満や不満が多くなっている。不満があるところに対して整備をどうしていくのか方向性を示していただきたい。
147 生活環境 1-5.下水道の経営	「(1)下水道施設の資産管理」という語句が適正でないと思うので検討していただきたい。
148 生活環境 1-5.下水道の経営	「(1)下水道施設の資産管理」にある合流式下水道の改善に関する記載は、「(3)雨水対策の充実」に該当すると考えるので検討していただきたい。
149 生活環境 1-5.下水道の経営	「(4)下水道事業の経営の安定」については、「5-1-5 下水道の経営」と項目語句、内容、表現をかなりの部分で合わせられると考えられるので検討していただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目	委員等から素案に対する意見等概要
150 生活環境 1-5.下水道の経営	台帳管理システムの整備率を目標指標としているが、整備は当然すべきことであれば目標指標とすることではないのではないか。整備を行うことによって経費等がどうなるのかということを目標指標としたほうが分かりやすくよいと考えるので検討していただきたい。
151 生活環境 1-5.下水道の経営	上下水道の組織統合について、「1-4.上水道の経営」との表現を統一していただきたい。
152 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	中心市街地活性化基本計画と駅周辺整備が切り離された印象がある。中心市街地活性化と駅周辺整備は連携が必要であり、連携した計画を策定すべきである。本計画においても、連携するという表現を追加していただきたい。
153 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	公共交通の利便性向上について、トランジットモールやパークアンドライドを具体的に明示し、方向付けすべきであると思う。
154 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	まちなか再生には、豊かな公共空間と公共施設の充実が必要と思う。公共の場を充実することにより、多様な人たちが集う受け皿を創り、外からの交流を求めるべきである。
155 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	周南市10年先のビジョンとして、山や海の大自然に恵まれた災害の少ない周南市はストレス社会の近代人“癒し”の空間をメインにした都市造り、高齢化が進む中、若者は郊外や広島、北九州に買い物に行き、反対に高齢者や定年退職者が住みたくなるような街づくりに取り組んでいただきたい。
156 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	中心市街地整備に関して、デザイン会議などのこれまでの話し合いの結果、まとまったこと、未決事項などをまとめる機会や市民に伝え、討議する機会を設けていただきたい。魅力ある中心市街地にするためにどうするのか、市民みんなが話し合い、検討する機会を設けていただきたい。
157 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	中心市街地活性化基本計画の認定は確実なのか。事業を進める上で認定の前提は必要であり、多額を投資し、事業を進めながら、計画が認定をされなかったら意味がないと思う。
158 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	事業を進める上で、地元の了解や行政と市民との協働の視点が必要である。
159 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	中心市街地の整備では、地元の了解をどう得て、進めていくのかなど、市民への情報提供、伝達手段、その仕組みづくり及び後期基本計画、デザイン会議など各計画の目的、位置付けについて、修正、加筆をお願いしたい。
160 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	「中心市街地の整備・充実」について、コンパクトシティの考え方やシニアに優しい街づくりといった考え方をに入れていただきたい。他の地域との差別化という視点がなく、とても魅力ある中心市街地が再生・充実するとは思えない。
161 都市基盤 1-1.中心市街地の整備・充実	都市福利施設の整備と街なか居住の推進を掲げられているが、確実に到来する高齢化社会での利便性の向上を図るという意味においても、大切な施策であると考えられる。
162 都市基盤 1-2.道路の整備	地域核づくりの観点から都市計画道路を計画的に建設していくことの積極的な取り組みと表現の追加をお願いしたい。
163 都市基盤 1-2.道路の整備	「推進施策の展開」に、自転車道の整備が全く入っていないが、種々の観点からその必要性が認められると考えるので、検討していただきたい。
164 都市基盤 1-2.道路の整備	少子高齢化が進む中、子どもや老人にやさしいまちづくりが必要であり、通学児童、老人が安心、安全に歩行できる歩行者専用スペースを確保する必要があると考えるので、表現の追加をお願いしたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目		委員等から素案に対する意見等概要
165	都市基盤 1-2.道路の整備	熊毛地区においては都市計画道路の未着手事業が多いこともあり、都市計画道路を計画的に建設することや重要な事業を具体的な表記をしていただきたい。
166	都市基盤 1-3.港湾の整備	公共埠頭では、大規模地震時の液状化や地球温暖化による海面上昇、高潮の対策が必要である。
167	都市基盤 1-4.交通体系の充実	少子高齢化が進む中山間地域での交通手段、バス路線の維持対策だけでなく、高齢化が進む中、近い将来、生活手段のための足が重要になってくると思うので、独居老人の方々への支援、乗り合いタクシーシステムの充実も検討していただきたい。
168	都市基盤 1-4.交通体系の充実	民間バスについて、低炭素社会の構築に向けて、電気自動車への移行などの対応を考慮していただきたい。
169	都市基盤 1-4.交通体系の充実	熊毛地区の路線バスはほとんど利用されていない状況でありながら、補助金を導入されている。バス路線を廃止して新しいものに取り組みのではなく、まず既存のバス路線を生かすことが重要で、乗合タクシーの導入など、新たな交通手段やバス停までの移動手段などの方策を考えていただきたい。
170	都市基盤 1-4.交通体系の充実	前半に循環型社会に向けた取り組みをしていくという記載があり、本項目においても低炭素社会の構築に向けた取り組みを表記すべきである。
171	都市基盤 1-4.交通体系の充実	公共交通機関の充実において、ノーマイカーデーやパークアンドライドの実践や市民への啓発、情報発信などの積極的な対応が必要であり、自家用自動車の抑制など踏み込んだ表記を検討していただきたい。
172	都市基盤 1-5.地域情報化の推進	情報の高度化に従って起こる情報格差について、定期的な検証とIT弱者への対応に取り組んでいただきたい。
173	都市基盤 1-5.地域情報化の推進	情報弱者等のための情報伝達手段を作ることと、情報を発信することとは全く別の問題であり、情報弱者へいかに情報を伝えるかを考えて、IT弱者保護に取り組んでいただきたい。
174	都市基盤 2-1.緑の空間の創造	シンボルロードの御幸通りと岐山通りの街路樹について、台風による倒木で、数が減っている。将来起こる大規模台風への対応策と倒木で数が減った場合、復元すべきである。
175	都市基盤 2-1.緑の空間の創造	市街地の緑空間の確保について、一定規模の建築物の新築に際して、緑化率や公開緑地を確保する条例をつくるべきである。
176	都市基盤 2-1.緑の空間の創造	まちの緑化では、中心市街地、特に商店街の緑化が急務であり、中心市街地活性化基本計画との連携が必要である。
177	都市基盤 2-1.緑の空間の創造	動物園のリニューアルでは、効果的な休憩スペースの設計が欠かせないと思う。施設整備には、公開プロポーザルで質の高い計画案を創ることが重要である。
178	都市基盤 2-1.緑の空間の創造	「良好な景観の創造」として、花いっぱい運動の推進が位置付けられている。大切で必要なことであると思うが、人材の育成が重要な課題であり、対応していただきたい。
179	都市基盤 2-1.緑の空間の創造	市街地の緑空間の確保について、建築物の新築に際しての緑化率や公開緑地を確保するまちづくり条例をつくる検討していただきたい。ゆとりある中心市街地のためにも、中心市街地の緑化が必要である。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目		委員等から素案に対する意見等概要
180	都市基盤 2-1.緑の空間の創造	万葉の森など、十分に利用されていない公園が多くあり、既存公園を多くの市民が利用する仕組みづくり、仕掛けづくりに取り組んでいただきたい。
181	都市基盤 2-2.快適な居住空間の整備	景観計画の目的である良好な景観の形成を図ることと、目標指標との関連がこの文章からイメージしにくいので、具体的な表現を追加していただきたい。
182	都市基盤 2-2.快適な居住空間の整備	教科書どおりでは全国画一になる。市民感覚を取り入れなければ地域特性がでない。地域住民の中で愛着があり、できるだけ残していくべきものがあれば、所有者にインセンティブを与えるなどの方向性を出して取り組んでいただきたい。
183	都市基盤 2-2.快適な居住空間の整備	景観重要建造物について、法律上のルールがあるのならば説明する記述がなければ一般市民には分かりにくいので、具体的な表現を追加していただきたい。
184	都市基盤 2-2.快適な居住空間の整備	久米などの土地区画整理事業では、地域のもつ歴史や風土に根ざした景観、地域コミュニティとの融合を考慮した計画づくりが重要である。また、住機能以外の多様性と他地域との交流が図れる仕組みが必要である。
185	都市基盤 2-3.住宅の整備	「民間主役」で整備する場合、既存のコミュニティとの断絶、破壊が現実の問題になっている。これに対する制度的な対応も検討していただきたい。
186	都市基盤 2-3.住宅の整備	市営住宅の整備、民間借上げ公営住宅の確保にあたって、既存コミュニティとの融合を図る旨の記述を追加して、「市民活動の促進」の中での記述とリンクするようにしてもらいたい。
187	都市基盤 2-4.河川・水辺空間の整備	川の保水量が減っており本来の川の姿を取り戻す必要がある。漁協や県と密接に連携するとともに、現地をよく見ながら取り組んでいただきたい。
188	産業 1.全体	産業振興の中にサービス産業の項目がない。都市間競争を勝ち抜くためにも、サービス産業の育成が重要である。また、農林漁業や他の産業においても、サービス産業との融合、連携が不可欠になるので、サービス業について具体的に表現していただきたい。
189	産業 1-1.農業の振興	地域の農業をどのように育てていくかということを考えた上で、学校給食における地産地消、食育の問題を考えていただきたい。
190	産業 1-1.農業の振興	農家として生産するだけでなく、自立できる収入が確保できるように、一次産業と他産業が連携した農商工連携等を検討していただきたい。
191	産業 1-1.農業の振興	イノシシやサルなどの被害が深刻で早急に鳥獣対策について具体的な対策が必要である。また、熊対策にも取り組んでいただきたい。
192	産業 1-1.農業の振興	農村の活性化のため、国道2号線沿いに(仮称)「道の駅熊毛」を実現していただきたい。
193	産業 1-1.農業の振興	道の駅への今後の商品の供給体制づくりに努めていただきたい。
194	産業 1-2.林業の振興	不在地主が増えるとともに若い人の山離れで山の境界が分からなくなってきたおり、早急に地籍調査を進めていただきたい。
195	産業 1-2.林業の振興	竹林が非常に増えている。災害が発生しやすくなるのが心配されるので対策に取り組んでいただきたい。
196	産業 1-2.林業の振興	カーボンオフセットなどが素案の説明の中で出てきたが、記載がなく必要であると思われるので表現を追加していただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目		委員等から素案に対する意見等概要
197	産業 1-3.水産業の振興	山口県で策定作業中の「やまぐち食と緑・水産チャレンジ実行計画」と連携した施策の展開が必要である。推進施策に「水産業を支える担い手育成」「食料自給率向上に向けた取組強化」の追加を検討していただきたい。
198	産業 1-3.水産業の振興	「(2)水産物の消費拡大」を「需要拡大」にしてはどうか。また、商品開発やブランドづくりについては「キジハタ」より「八モ」を記載してもらいたい。
199	産業 1-3.水産業の振興	「(3)魅力ある漁村づくりと環境整備」について、フィッシャリーナは漁業振興の趣旨に合わないため、記述の削除を検討していただきたい。
200	産業 1-3.水産業の振興	川からの流木等による海面汚濁が問題となっており漁業環境の整備としてこれらに対応する体制整備について、記載を検討していただきたい。
201	産業 1-3.水産業の振興	市場の施設更新等にあたって、HACCP(衛生面を考えた市場の意)に対応する内容の表現を追加していただきたい。
202	産業 1-3.水産業の振興	主要事業に藻場干潟整備や漁協の取組みに対する支援を追加していただきたい。
203	産業 1-4.商業の振興	飲食業の中でも、オープンカフェなど、まちの公共空間の賑わいに寄与する業種の誘致が欠かせないと思うので、考慮していただきたい。
204	産業 1-4.商業の振興	現在民間駐車場になっているスペースなどの等価交換や定期借地権の活用による公共空間整備を検討していただきたい。
205	産業 1-4.商業の振興	商店街活性化は買い手がいなければ成り立たないことであり、郊外のショッピングセンターでは来て楽しくなる仕掛けを戦略的におこなっていることから、商業振興にあたっては、市民や専門家の意見も十分に取り入れて進めていただきたい。
206	産業 1-4.商業の振興	商業振興が進まない要因は何があるのか不明であるが、徳山大学や徳山高専をはじめ若者の力をもっと取り込むことが不可欠であると考え。青年会議所の力も取り込んで商業振興を進めていただきたい。
207	産業 1-4.商業の振興	高齢者向けの施設・機能を中心市街地に施設を集中させるとともに、街なか居住との連携を図るなど商業以外の要素が重要であり、考慮していただきたい。
208	産業 1-4.商業の振興	商業の振興について、行政は、商工会議所、市民、関係者との調整役の立場であることを明確にする記述をしてもらいたい。中心市街地の整備・充実にリンクする形での表記をお願いしたい。
209	産業 1-5.工業・新産業の振興 1-6.企業誘致・雇用環	産業活性化条例を推進することが重要であり、企業も入れた推進体制に取り組んでいただきたい。
210	産業 1-5.工業・新産業の振興	環境産業を推進するにあたっては、インセンティブを与えるなど政策誘導が必要である。
211	産業 2-1.観光の振興	周南市には郷土料理やお土産など観光において、「食べ物」がおろそかになっていることから、重点的な取り組みをしていただきたい。
212	産業 2-1.観光の振興	観光の中で、動物園をもう少し活用したらよいのではないかと。例えば林忠彦賞のような全国に発信できる材料もっているのだから、それとタイアップできるようなイベントや、動物園を生かしたイベントを考えていただきたい。

(参考資料) 審議における委員意見一覧

項 目		委員等から素案に対する意見等概要
213	産業 2-1.観光の振興	新幹線から見える位置にツヨシ君の写真の看板を出して、アピールするような方策をとればいくらでも周南市を売り込むことが可能である。拾島のふぐについても、大々的に宣伝していけば期待が持てると思うので、積極的に取り組んでいただきたい。
214	産業 2-1.観光の振興	徳山、新南陽、鹿野、熊毛の各地区が周南市としてつながり、融和できるような施策(観光ルートを開発等)が必要である。
215	産業 2-1.観光の振興	観光資源の発掘及び活用について、『あまり知られていない各地域の史跡や伝統芸能などを積極的に発掘するとともに、紹介ガイド作り等を進めます。』を追加していただきたい。
216	産業 2-1.観光の振興	中高年ではツーリズムや登山がブームとなっており、地域の森林や高い山を利用したコースを整備する取り組みをお願いしたい。例えば、森林浴を楽しみながら、水源である森林の必要性を都市部の方へ知っていただく観光林業を企画していただきたい。
217	産業 2-1.観光の振興	観光立市を進める中では、お金が落ちる仕組みが必要ではないか。食べ物、土産物などを充実させていく必要がある。
218	産業 2-1.観光の振興	ふぐ等を活用した全国ブランドを作り上げていく必要がある。
219	産業 2-1.観光の振興	観光の振興では、消費者や市民の視点、意識が入っていない。消費者側の立場で観光立市推進会議を進めるとともに、観光資源の発掘、周南ブランドの育成にあたって消費者の視点を入れて施策を展開していく記述を盛り込んでいただきたい。
220	産業 2-1.観光の振興	観光の振興の実現化に向けたプロセスを委員のみなさんは心配している。『重責を担うであろう推進会議に期待する』という熱い思いを第3部会として伝えたい。
221	第4章 計画推進のための方策 2.効率的な行政運営	第4章「2 効率的な行政運営」で前期基本計画の各施策について施策評価を実施したと記載されているが、市民の評価(アンケート結果)だけでなく行政サイドの評価も記載する必要があると考える。
222	第4章 計画推進のための方策 2.効率的な行政運営	「(3)職員の能力開発」について目標指標の1つとして、研修への派遣人数が掲げられているが、『未来を見据え自ら新しいチャンスを創造する職員』を評価できる目標指標に一考されることを提案する。
223	第4章 計画推進のための方策 2.効率的な行政運営	プロジェクトが設定されているが、複数の部署にわたるものはプロジェクトチームを結成して取り組んでいく必要がある。
224	第4章 計画推進のための方策 2.効率的な行政運営	合併後6年が経過した現在も、本庁及び支所は旧市町の枠組みのままになっている。実態と市民の利便性を考慮した、行政エリアの再構築を検討していただきたい。
225	第4章 計画推進のための方策 2.効率的な行政運営	効率的な行政運営で、前期基本計画の実績・評価ということであるが、行政サイドの評価が全然見えないので、総括したような形での表記をしていただきたい。
226	第4章 計画推進のための方策 4.中核的都市づくりの推進	道路整備等、新市建設計画の進捗状況で「未着手」となっている事業についても、後期基本計画の中に盛り込み、精査して着実に事業を進めていただきたい。